

『小学保健』学年別年間指導計画例 第5学年

◆1章 心の健康 ・教科書 P.7～P.20 ・配当時数 3時間

◆2章 けがの防止 ・教科書 P.21～P.38 ・配当時数 5時間

●指導順について

◆1章 心の健康 ・教科書 P.7～P.20 ・配当時数 3時間

内容のまとめ(新学習指導要領)	単元計画配当	指導順について
①心の発達	1時	必ず単元の最初に取り扱う。
②心と体との密接な関係	2時	①に続いて取り扱うことが望ましい。
③不安や悩みへの対処	3時	③は、必ず単元の最後に取り扱う。

◆2章 けがの防止 ・教科書 P.21～P.38 ・配当時数 5時間

内容のまとめ(新学習指導要領)	単元計画配当	指導順について
①交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	1時～4時	3時、4時は順不同。
②けがの手当	5時	②は、必ず単元の最後に取り扱う。

●学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて、取り扱いを判断することが望ましい。単元計画の時間欄に以下の記号を示す。

分類	学習内容や学習活動の別	時間数
学	教師による適切な指導が必要な内容や、話し合い・実習などが必要なもので、 <b>学校での指導が望ましいもの。</b>	6
▲	学校での指導が望ましいが、学校の指導計画や実施できる時間数によっては、 <b>学校の授業以外の場での学習が可能なもの（▲）は事前に家庭学習で行い、学校での学習につなげることが望ましいもの。</b>	2

●指導上の留意点

学校における各種取り組みによって指導を充実させた上で、当初予定していた学習内容の指導を本年度中に終えることが困難な場合は、一部を次年度以降に移す特例的対応が可能です。

◆1章 心の健康 ・教科書 P.7～P.20 ・配当時数 3時間

章の目標	
<p>■心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。</li> <li>・心と体には、密接な関係があること。</li> <li>・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。</li> </ul> <p>■心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。</p>	

時	学習活動	評価の観点
<b>1. 心の発達</b>		
<p>1時 (p. 8～11) (p. 14～15) (p. 20)</p> <p style="text-align: center;"><b>学</b></p>	<p>【はじめに】小さい頃と今の自分とを比べて、P. 8 の挿絵のような経験があるかを振り返る。</p> <p>【調べよう】心の成り立ちや心と体の関係について調べる。</p> <p>【考えよう】心（感情, 社会性, 思考力など）は、それぞれどのように発達してきたのか、小さい頃の自分と今の自分とを比べて考える。</p> <p>【話し合おう】私たちの心は、どんなことを通じて発達してきたのか、自分の経験を振り返って、人との関わりなどから話し合う。</p> <p>【まとめ】心は、多くの人との関わりや自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して発達していく。</p> <p>心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになる。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】心がよりよく発達していくためにしてみたいことを考え、記入する。</p>	<p>○心は、様々な生活経験や学習を通して、年令とともに発達することを理解している。（知識・技能）</p> <p>○よりよく心を発達させる適切な方法を考えたり、表現したりしている。（思考・判断・表現）</p> <p>○心の発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<b>2. 心と体の関わり</b>		
<p>2時 (p. 12～14) (p. 20)</p> <p style="text-align: center;"><b>学</b></p>	<p>【はじめに】P. 12 の挿絵を見て、同じ経験をしたことがあるかを振り返る。</p> <p>【考えよう】心の状態の変化が、体の状態に影響する場面について考える。</p> <p>【考えよう】体の状態の変化が、心の状態に影響する場面について考える。</p>	<p>○心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解している。（知識・技能）</p> <p>○心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連づけて考えたり、表現したりしている。（思考・判断・表現）</p>

	<p>【調べよう】心と体は、どのようにつながっているのかを調べる。</p> <p>【まとめ】心の状態が変化すると体の状態も変化することがあり、体の状態が変化すると心の状態も変化することがある。これは、心と体が互いに深く影響し合っているからである。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】普段の生活のなかで、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記入する。</p>	<p>○心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<p><b>3. 不安やなやみなどへの対処</b></p>		
<p>3時 (p. 16~18) (p. 19, 20)</p> <p><b>学</b></p>	<p>【はじめに】P. 16 の挿絵を見て、同じ経験をしたことがあるかを振り返る。</p> <p>【調べよう】小学校 4~6 年生が抱える不安や悩みには、どんなものがあるのかを調べる。</p> <p>【話し合おう】不安や悩みなどに対処する方法を考え、話し合う。</p> <p>【まとめ】不安や悩みがあるときには自分の不安や悩みに合った、適切な方法を見つけて対処することが大切である。解決に向けて努力をすることによって、心は豊かに発達し、たくましくなる。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】例示された悩みへの対処の方法を考えて、記入する。</p>	<p>○不安や悩みへの対処には様々な方法があり、自分の不安や悩みに合った適切な方法で対処できることを理解している。</p> <p>（知識）</p> <p>○呼吸法などの対処のしかたを実践できる。（技能）</p> <p>○不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選んだり表現したりしている。</p> <p>（思考・判断・表現）</p> <p>○不安や悩みへの対処法を進んで考え、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>（主体的に学習に取り組む態度）</p>

◆2章 けがの防止 ・教科書 P.21～P.38 ・配当時数 5時間

章の目標	
<p>■けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。</li> <li>・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。</li> </ul> <p>■けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	

時	学習活動	評価の観点
<b>1. けがや事故の起こり方</b>		
<p>1時 (p. 22～23) (p. 28, 38)</p> <p style="text-align: right;"><b>学・▲</b></p>	<p>▲【はじめに】けがや事故が起こりそうになって「あぶない！」と思った経験を思い出す。</p> <p>▲【調べよう】けがや事故は、何が原因で起こるのか調べる。</p> <p>【話し合おう】P. 23 の挿絵を見て、けがや事故の起こる原因を、「人の行動」と「周りの環境」に分けて考え、記入欄に書き、話し合う。</p> <p>【まとめ】けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こる。また、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係している。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】「あぶない！」と思った場面を思い出し、その原因を「人の行動」と「周りの環境」に分けて記入する。</p>	<p>○けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解している。（知識・技能）</p> <p>○けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、考えたり表現したりしている。（思考・判断・表現）</p> <p>○けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<b>2. 学校や地域でのけがの防止</b>		
<p>2時 (p. 24～25) (p. 38)</p> <p style="text-align: right;"><b>学・▲</b></p>	<p>▲【はじめに】けがにつながる「かくれた危険」を探す。</p> <p>▲【調べよう】どうすれば、学校や地域でのけがを防ぐことができるのか調べる。</p> <p>【話し合おう】危険を予測し、どのように安全な行動をとればよいのか考え、記入欄に書き、話し合う。</p> <p>【調べよう】危険を防ぐために、学校や地域で行われている安全な環境づくりについて調べる。</p> <p>【まとめ】けがを防ぐには、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切である。また、安全な環境をつくることも必要である。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】「あぶない！」と思った場面を思い出し、その場面でけが</p>	<p>○学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解している。（知識・技能）</p> <p>○自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明している。（思考・判断・表現）</p> <p>○学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>

	を防ぐための安全な行動を考えて、理由とともに記入する。	
<b>3. 交通事故の防止</b>		
<p>3時 (p. 26~29) (p. 38)</p> <p>学・▲</p>	<p>▲【はじめに】交通事故は、どんな場所で、どんなときに起こりやすいのか考える。</p> <p>▲【考えよう】P. 26 の挿絵を見て、どんな危険があるか、事故にあわないためには、どう行動すればよいのか記入する。</p> <p>【話し合おう】P. 27 の挿絵を見て、事故にあいそうな人を見つけて○をつけ、どんな危険が考えられるか、その危険を避けるにはどう行動するとよいか話し合う。</p> <p>【話し合おう】事故を防ぐために、P. 27 の挿絵の中に「カーブミラー」と「横断禁止」を1つずつ設置するなら、どこに設置するとよいか考え、その理由とともに話し合う。</p> <p>【まとめ】交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切である。また、交通事故を防止するためにさまざまな環境づくりも行われている。</p> <p>【学んだことを生かそう・伝えよう】家の近くや通学路で交通事故が起きそうな場面を思い浮かべて、交通事故を防ぐ安全な行動を考えて、理由とともに記入欄に書く。</p>	<p>○交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを理解している。（知識・技能）</p> <p>○自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、表現している。（思考・判断・表現）</p> <p>○交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<b>4. 犯罪被害の防止</b>		
<p>4時 (p. 30~31) (p. 34, 38)</p> <p>学・▲</p>	<p>▲【はじめに】小学生が、誘拐や暴力などの犯罪被害に遭いやすい場所はどこか考える。</p> <p>▲【調べよう】犯罪被害に遭いやすい場所はどんな場所か調べる。</p> <p>▲【考えよう】P. 30 の挿絵を見て、どんな危険があるかを予測し、犯罪被害に遭わないための安全な行動のしかたを考え、記入する。</p> <p>【話し合おう】P. 31 のそれぞれの挿絵で、危険の予測をして、自分が正しいと思う「安全な行動のしかた」を考え、多くの方法を出し合う話し合いを行う。</p> <p>【調べよう】犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりには、どんなものがあるのか調べる。</p> <p>【まとめ】犯罪被害に遭いやすい場所には近づ</p>	<p>○犯罪被害に遭わないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解している。（知識・技能）</p> <p>○犯罪被害に遭いやすい場所かどうかを判断し、安全な行動を考えて、説明している。（思考・判断・表現）</p> <p>○犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>

	<p>かないなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切である。それでも犯罪に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりする。警察や地域の人々によって安全な環境をつくる活動も行われている。</p> <p><b>【学んだことを生かそう・伝えよう】</b> 地域や通学路で、犯罪被害に巻き込まれないようにするための安全な行動を考えて、理由とともに記入する。</p>	
<p><b>5. けがの手当</b></p>		
<p>5時 (p. 32~33) (p. 38)</p> <p><b>学</b></p>	<p><b>【はじめに】</b> 学校で起きやすいけがには、どんなものがあるのか考える。</p> <p><b>【調べよう】</b> けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときは、まず何をすればよいのかを調べる。</p> <p><b>【やってみよう】</b> 手当のしかたの原則を知り、いろいろなけがの手当をできるようにする。</p> <p><b>【まとめ】</b> けがをしたときは、けがの種類や程度を判断し、自分で手当したり近くの大人に知らせたりするようにする。また、自分でできる手当の方法を知り、けがに合った手当ができるようになるよ。</p> <p><b>【学んだことを生かそう・伝えよう】</b> 休み時間に校庭で転んでしまったとき、どう行動しようと思うかを考え、記入する。</p>	<p>○けがは、種類や程度を速やかに把握して処置したり大人に知らせたりすることが大切であることを理解している。（知識）</p> <p>○簡単なけがの手当ができるように実習している。（技能）</p> <p>○けがの適切な手当の方法を選んだり、説明したりしている。 （思考・判断・表現）</p> <p>○けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりする活動に積極的に取り組もうとしている。 （主体的に学習に取り組む態度）</p>
<p><b>●自然災害から身を守る</b></p>		
<p>(p. 36~37)</p>	<p><b>【はじめに】</b> 今、地震が起きたらどうするか、考える。</p> <p><b>【調べよう】</b> 揺れを感じたり「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたときにはどうすればよいのか調べる。</p> <p><b>【話し合おう】</b> P. 36 のそれぞれの挿絵を見て、地震が起きたときの自分が正しいと思う「安全な行動のしかた」を考え、多くの方法を出し合う話し合いを行う。</p> <p><b>【調べよう】</b> 津波・豪雨・落雷が起きたときには、どうすればよいのか調べる。</p> <p><b>【調べよう】</b> 災害が起きたときのために、日頃からどんな備えをしておけばよいのか調べる。</p> <p><b>【まとめ】</b> 自然災害から身を守るには、日頃か</p>	<p>○日頃から災害に備えること、災害が起きたら落ち着いて判断し素早く安全な行動をとることが大切だと理解している。 （知識・技能）</p> <p>○災害から身を守るための安全な行動のしかたを考え、判断したり説明したりしている。 （思考・判断・表現）</p> <p>○災害によるけがの防止の学習に、積極的に取り組もうとしている。 （主体的に学習に取り組む態度）</p>

	<p>ら災害に備えることと、災害が発生したときには落ち着いて正しい判断をし、素早く安全な行動をとることが大切である。</p> <p><b>【学んだことを生かそう・伝えよう】</b>通学路で地震が起きたときにどんな危険があるかと、危険を避けるための「安全な行動」を考え、記入する。</p>	
--	---	--